

令和元年5月 新着分

番号	題名	種類	収録時間	内容	制作年度(平成)	制作者	解説書	ジャンル
B 14	はじめて認知症の人に接するあなたへ	DVD	19分	「症状についての正しい理解」と「認知症の人への接し方の基本」の2点に内容をしぼり、認知症についての基礎知識を学んでいきます。専門用語を使わない誰にでも分かりやすい解説と、大切なポイントに気づかせてくれる適切なハウツー映像で、正しい知識を自然に身につけることのできる、入門編として最適な内容の教材です。 (高校生・一般向け)	30年度	企画・制作：千葉エデュケーショナル株式会社	無	B 高齢者をめぐる課題
C 46	いじめ 一歩ふみ出す勇氣	DVD	19分	本作は、中学生向けのいじめ防止教材ドラマです。いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救っていかうとするストーリーを通して、いじめ解決のために一歩踏み出すことの大切さを伝えます。また、ドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者それぞれの立場に自分を置き換えて視聴することで、もし自分がその人物ならどうするか考え、話し合い、より良い行動をとる力をつけていきます。	30年度	企画・制作：東映株式会社 制作協力：株式会社オフィス・シマ	有り	C 子どもをめぐる課題
C 47	いじめ 心の声に気づく力	DVD	19分	小学校中・高学年向けのいじめ防止教材ドラマです。本作品では、子供たちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養い、いじめの傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識をもつことをねらいとしています。	30年度	企画・制作：東映株式会社 制作協力：株式会社オフィス・シマ	有り	C 子どもをめぐる課題
C 48	情報モラルを身につけよう！1巻 自分も相手も傷つけないために	DVD	21分	スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方を分かりやすく解説します。子供たちが情報社会における正しい判断力と態度を身につけ、危険回避の方法を理解することを狙いとしています。 1巻では、主にスマホの安全で正しい使い方について教えていきます。	30年度	企画・制作：東映株式会社 制作協力：株式会社CLEO	有り	C 子どもをめぐる課題
C 49	情報モラルを身につけよう！2巻 危険な目にあわないために	DVD	19分	スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方を分かりやすく解説します。子供たちが情報社会における正しい判断力と態度を身につけ、危険回避の方法を理解することを狙いとしています。 2巻では、主にゲームアプリの課金、ワンクリック詐欺、スマホ依存の危険とその対策について教えていきます。	30年度	企画・制作：東映株式会社 制作協力：株式会社CLEO	有り	C 子どもをめぐる課題
D 33	お互いの本当が伝わる時 障害者	DVD	24分	この作品は、「お互いの本当が伝わる時」では、障害のある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなどの具体例を4つのストーリーで見ている、それをどう取り除いていけばいいの、また障害のある人から発信することの重要性も示します。 【チャプター構成】 ①見えない人が見ている景色 ②本当を伝え合う ③弱みが強みに変わるとき ④医学モデル・社会モデル	30年度	企画・制作：東映株式会社 教育映像部 制作協力：オープンアイズ合同会社	有り	D 障がいのある人をめぐる課題
D 34	障害のある人と人権 誰もが住みやすい社会をつくるために	DVD	33分	障害のある人もない人も誰もが住みやすい社会をつくるためにはどうすればよいのか？この作品では、障害のある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取り組みなどを紹介し、「障害のある人と人権」について考えていきます。 【チャプター構成】 ①オープニング ②障害とは？ ③障害のある人が直面する人権問題 ④誰もが住みやすい社会をつくるためには	30年度	企画：法務省人権擁護局/公益財団法人人権教育啓発推進センター 制作：東映株式会社	有り	D 障がいのある人をめぐる課題
G 19	みんなの情報モラルⅢ SNSに潜むリスク	DVD	21分	SNS時代を生きる子どもたちが取り返しのつかない事態に陥る前に、SNSに潜む危険性や問題点に気づくことができる情報モラル教材。学校でも社会教育としても有効に活用できます。 (文部科学省特別選定作品)	29年度	東映株式会社	有り	G 個人情報保護

G 20	みんなの情報モラルⅣ スマホにかくれた闇	DVD	18分	スマホ利用において、そこに潜む危険性気づくことができる情報モラル教材です。学校でも社会教育としても有効に活用できます。この作品では、なりすまし、紛らわしい投稿、著作権に焦点を当てています。 (文部科学省選定作品)	30年度	東映株式会社	有り	G 個人情報保護
I 63	君が、いるから	DVD	33分	主人公は母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」。生き方を制限され、自分が愛されていると感じることもできない彼女は、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。やがて彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通して新たな価値観に気づいていきます。 子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支えあいながら希望の種をまいていく、そんな「子どもと若者の人権」をテーマにした人権啓発ドラマです。	30年度	企画：兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会 企画協力：兵庫県教育委員会 制作：東映株式会社	有り	I 人権とは
I 64	Voice!!! 人権の教室	DVD	38分	舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手掛かりに、3つの人権のテーマについて学びます。 ①-声援- オリンピック・パラリンピックと人権 ②-発信- 北朝鮮による拉致問題 ③-歌声- 子供の人権(いじめ問題)	29年度	企画：東京都教育委員会 制作：東映株式会社	有り	I 人権とは
J 73	わからないから、確かめ合う コミュニケーション	DVD	29分	この作品は、ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」を提示しています。 【チャプター構成】 ①言葉は相手のために〈ハラスメント〉 ②違うからこそわかりやすく〈外国人〉 ③本当を確かめ合う〈障害者〉 ④本人の気持ちに添う〈LGBT〉 ⑤その人らしさを認める〈働き方〉 ⑥本当の出会のために〈同和問題〉	30年度	企画・制作：東映株式会社 教育映像部 制作協力：オープンアイズ合同会社	有り	J 職場・企業などにおける課題
J 74	ハラスメントを生まないコミュニケーション グレーゾーン事例から考える	DVD	25分	ハラスメントを生まないためにはどのようなことを意識すれば良いかということ、様々な事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考えていきます。 【章構成】 第1章～第3章 パワーハラをめぐる事例①～③ 第4章～第5章 セクハラをめぐる事例①～② 第6章 マタハラをめぐる事例	30年度	企画・制作：東映株式会社 教育映像部 制作協力：グループ現代	有り	J 職場・企業などにおける課題
J 75	公正な採用選考が企業にもたらすもの	DVD	25分	公正な採用選考の意義や、公正さをいかに守っていくかなどについて、具体的な事例を盛り込み、企業の採用担当者の目線で見やすく描いた作品です。 【あらすじ】 公正な採用選考のための雇用主研修会が開催されている。その会場に採用担当の男女3人が入っていく。3人は、そこで公正な採用選考の基本を学び、以降、カフェに集まり情報交換をするようになる。そうして3人は、公正な採用選考の重要性を知るようになる。	30年度	企画・制作：東映株式会社 教育映像部 制作協力：株式会社ターゲット	有り	J 職場・企業などにおける課題
J 76	企業活動に人権的視点を② ～会社や地域の課題を解決するために～	DVD	97分	企業は、顧客、取引先、株主、地域社会、従業員等、様々な人々と関わりながら活動しています。多くの人から支えられている企業だからこそ、こうした人々に誠実に対応していく必要があります。 この作品では、どのように取り組むことが企業内外の人々のためになり、地域や環境のためにもなるのか、先進的な5つの取組事例を紹介します。 【チャプター構成】 ①ユニバーサルデザイン ②ワーク・ライフ・バランス ③外国人雇用 ④LGBTへの対応 ⑤地域社会への貢献 (SDGsの実践)	30年度	企画・制作：公益財団法人人権教育啓発推進センター 制作協力：株式会社桜映画社	有り	J 職場・企業などにおける課題

平成30年3月 新着分

番号	題名	種類	収録時間	内容	制作年度(平成)	制作者	解説書	ジャンル
A 30	あした咲く 「女性の人権」 ～ともに輝ける社会をめざして～ (字幕副音声版「活用ガイド」つき)	DVD	36分	この作品は生き方の異なる姉妹が登場、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えています。姉妹での対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通じて、別の視点や価値観に気づきます。「幸せ」の形は十人十色です。自分で自分の生き方を選択し、全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることができる、多様性尊重社会。その実現をめざすきっかけとなる人権啓発ドラマです。	29年度	企画：兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会 企画協力：兵庫県教育委員会 制作：東映株式会社	有り	A 男女共同参画に関する課題
J 72	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会 (日本語字幕つき 副音声入り 「活用の手引」つき)	DVD	40分	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。こうした「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わります。そのため、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。この作品は、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。	29年度	企画：法務省人権擁護局(公財)人権教育啓発推進センター 制作：東映株式会社	有り	J 職場・企業などにおける課題